

千葉県立君津青葉高等学校 3年保護者

祖母を地域の介護福祉センターで週2日ほど見ていただいた経験があり、その時の若い介護職員の心のこもった対応を今でも時折思い出します。介護福祉は地域とのつながりの強い職業です。君津青葉高校は2年生から専門教育を学習できると聞き、子どもも介護福祉に関心をもち、地元の君津青葉高校を選びました。介護福祉へ携わりたいという志を持つ子どもを今後も応援していきたいと思っています。

千葉県立松戸向陽高等学校 1年保護者

娘がこの学校で福祉を学ぶ決断をしたのは、人の役に立つ福祉関係の仕事がしたいという強い意志があったからです。また、同校の校訓と校名の由来に感銘を受け、同校に受験しました。福祉教養科は特別な教育課程が設けられ、専門知識を持った先生方の指導があります。初めて聞く用語に戸惑いつつも一生懸命取り組んでいます。実習では、職員さんの動き全てに意味があると学びました。資格取得に向け、これからも頑張りたいと思っています。

千葉県立松戸向陽高等学校 2年保護者

高校進学時、福祉に興味があると相談を受け、学校見学をして説明を聞き、福祉の職種について学ぶ3年間か、資格の修得という明確な目標をもつ3年間かを考え、選択しました。

入学後も、常に介護福祉士という目標に対し、日々意識して勉強を行い、体調管理をして欠席することの自分へのリスクを考え行動している姿を見て、自覚を持って取り組んでいる事を感じ、親も目標達成まで協力したいと思っています。

千葉県立松戸向陽高等学校 2年保護者

高校では、普通科よりも専門的に学べる科のある高校をチェックしていました。当時、私自身が福祉系の職業に就いていたことと、本人が大好きなソフトボール部があったことも理由で、前後期とも松戸向陽高校を希望しました。

めでたく前期試験で合格し、勉強の話をしたり、時々部活の応援に行ったりして、毎日楽しく過ごしています。朝は部活で6時過ぎには弁当を持って出かけていき、週末もほとんど練習という毎日ですが、本人は楽しそうです。



千葉県立松戸向陽高等学校 3年保護者

私の娘が、介護福祉士になりたい理由として、将来人の役に立ちたいという考えがあったからです。実習先でいろんな人と出会い、本人にとっては貴重な体験になったと思います。ボランティアや実習の中で、知らないことを先生におそわり、いろいろなことを覚えてこれからは本人が努力していくことを信じています。親から見るといろいろな問題があるかもしれないけれど、持ち前の明るさでこれからは努力して多くの高齢者の役に立ってくれると信じます。

千葉県立松戸向陽高等学校 3年保護者

娘が中学生の時、将来は人の役立つ福祉の仕事に就きたいと言い、中学校の先生に相談しましたら、千葉県内の高校で一番福祉の勉強をさせてくださり、そして介護福祉士の資格取得を目指す松戸向陽高校を紹介していただき入学しました。娘も早三年生になり、やはり先生方が熱意を持って幅広くご指導や教育をしてくださるので、着々と自信がついている様子です。今後も頑張り社会に貢献する人間になってもらいたいと思っています。

千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 3年保護者

東日本大震災が起き数年の月日がたちます。私はあの地震が起きた時、身体の不自由な方のそばにいました。地震でゆれる中「大丈夫ですか？私達がそばにいます」と声をかけて回りました。声をかけ手を差し伸べるだけで表情はやわらぎ「ありがとう」と感謝の言葉を頂き喜びを感じる事ができました。

介護とは、決して楽な仕事ではありませんが、本質は全ての人が幸せに生きられるようにする事だと思います。その中で中心にあるものは優しさなのだと思います。是非我が子にも、その優しさを持って、介護の道に進んでいってもらいたいと思っています。皆様の優しさを今後の未来へ。

木更津総合高等学校 2年保護者

娘を木更津総合高校へ入学させて良かった点は多数あります。

第一に、交通アクセスの悪いところからでも学校に通うことのできるローカル線です。家の近くに停留所があるので暗くなっても安全が保障されます。

第二に、厳しい服装、生活態度、頭髪等の指導です。多少厳しい事を指導されるかと思いますが、社会人になりもっと厳しいマナーに慣れるためにはちょうど良いと思います。

第三に、多様性のあるコース制です。娘は医療・看護・福祉コースですが、将来の為に役に立つ勉強をさせて頂いています。その他にも選択するコース教科により、将来への道は開けると信じています。

このような、交通アクセス、厳しい指導、多様性のあるコースという面を考えると、木更津総合高校はとても素晴らしい学校だと思います。